

「第19回新川森林祭」が開催されました

「新川森林祭」は、平成10年から新川地区3市2町の持ち回りで、環境保全や潤いと安らぎの提供など多様な役割を果たす森林の重要性について普及啓発するとともに、植樹活動により健全な森林を育成するため、植樹活動などを行っています。

第19回目となる今年は、黒部市荒俣地区において令和3年度から地区住民が一体となり、海岸林の機能や美しい砂浜と海岸林の風景を保全するため、松くい虫防除の樹幹注入や松くい虫に強く、枯れにくい抵抗性クロマツの植栽などの活動をされている海岸林で開催されました。

センター職員から植樹方法を説明した後、地元の村椿小学校の4、5年生ら参加者は、200本の抵抗性クロマツの植樹を行い、海岸林の役割やその機能性に理解を深めました。

【開催の概要】

主 催：黒部市、東部林業協会、新川森林組合

共 催：富山県新川農林振興センター

日 時：令和7年11月14日（金）14：00～15：10

場 所：荒俣海岸林（黒部市荒俣 地内）

内 容：式典、植樹（抵抗性クロマツ200本）、記念標柱設置

参加者：約140名（新川地区の林業関係者、地区住民、村椿小学校4、5年生など）



辻 新川森林組合代表理事組合長の開催宣言



武隈 黒部市長の挨拶



寺田 荒俣地区松枯対策協議会長から
活動状況の説明



式典後に参加者全員で記念撮影
これから植樹かんばるぞー！



センター職員による植樹方法の説明



黒部市長と児童による記念植樹



地区住民による植樹



記念標柱の設置



植樹活動後にも記念撮影しました！

